

流域下水道事業への太陽光発電事業導入に係る 最優秀提案者の決定について

1 要旨・目的

流域下水道事業の未利用地（一部）への太陽光発電事業の導入について、公募型プロポーザルを実施し、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。

2 現状・背景

- 流域下水道事業経営実行プラン(R5.10策定)に基づき、未利用地の利活用策として、未利用地（一部）へ太陽光発電事業を導入（P P A方式※）することとした。
- 令和9年度中の導入を目指し、令和7年8月29日に公募を開始し、同年12月23日に公募型プロポーザル選定委員会において最優秀提案者を選定した。

※P P A方式

- ・土地に事業者（第三者）が太陽光発電設備を設置し、自治体は使用量に応じた電気料金を支払って、発電した電力を当該施設で使用するもの。
- ・発電施設の整備や日々のメンテナンス、故障時の対応等は全て PPA 事業者が行うため、公設公営に比べて自治体側の労力が少なく、リスク負担を軽減できる。

3 概要

(1) 審査結果

最優秀提案者 中国電力株式会社

選定結果	商号又は名称
	株式会社中電工 広島統括支社
◎	中国電力株式会社 (共同事業者：株式会社エネルギア・ソリューション・アンド・サービス)
	ENEOS TotalEnergies Renewables Japan Projects 合同会社 (共同事業者：旭テクノプラント株式会社)

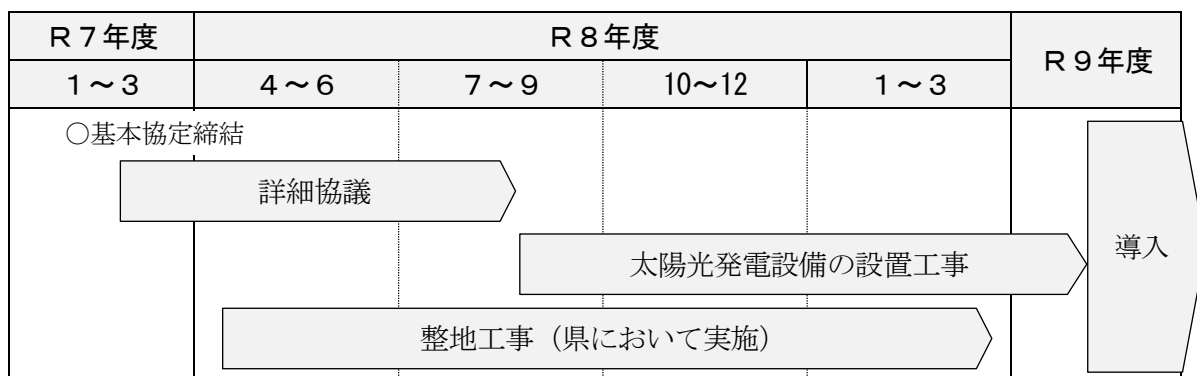
(2) 最優秀提案者が評価された点（主なもの）

- 自家消費電力量及び設備仕様について、発電シミュレーションや各施設の系統等を具体的に検討していた。
- 維持管理、メンテナンスの実施体制及び計画について、地域の特性に応じた提案があった。
- 履行期間中のリスク対応について、十分対応できるように様々な状況を想定した提案があった。

4 今後の対応

最優秀提案者と基本協定を締結後、太陽光発電設備の設置場所、電気工事などの詳細について協議の上、令和8年度から太陽光発電設備の設置に向けた工事に着手し、令和9年度中の導入を目指す。

【スケジュール】



5 その他（公募型プロポーザルの概要）

(1) 事業概要

項 目	内 容
面 積	5. 4 h a ※3 浄化センター合計
期 間	2 0 年（発電事業者の投資回収期間や標準的な太陽光発電設備の耐用年数を踏まえ設定）
開始年度	令和9年度中
公募方法	公募型プロポーザル方式 ※3 浄化センター一括公募

(2) 審査委員会の開催経過

日付	審査内容
令和7年8月14日	第1回審査会 プロポーザル参加資格、評価基準、審査要領等
令和7年12月23日	第2回審査会 企画提案書の評価、最優秀提案者の選定